

岡山県高P連 会報

発行：岡山県高等学校PTA連合会

事務局：〒700-0824岡山市北区内山下1-14-19 / TEL：086-234-1640 / FAX：086-234-1835

URL：http://www.okayama-koupren.ne.jp / E-mail：okayama-koupren@ybb.co.jp

第61号

『希望』

岡山県高等学校PTA連合会会長

武田浩一



平素より皆様方にはPTA活動に多大なるご尽力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年、倉敷市出身の星野仙一監督率いる東北楽天ゴールデンイーグルスがリーグ制覇、そして日本一にまで上り詰めた感動はまだ記憶に新しいと思います。なぜ球団創設から9年で日本一という偉業を達成出来たのか。その理由は彼らが、球団本拠地仙台、そして東北の置かれている「今」という現実に対して野球を通じて「希望」の光りを点し続けることこそ最

大のファンサービスであると感じていたからではないでしょうか。東日本大震災という非常に大きな困難に直面しながらも、「希望」を放棄せず愚直に戦い抜いてきたことが、彼らを優勝に導いた原動力であったと私は思います。球団の優勝が東北にお住まいの方にどれほど大きな希望をもたらしたかは言うまでもありません。「未来が等しく未知である」という点においては学生・社会人の立場を越えて私たちは同じであると考えます。将来起こるいかなる変化も恐れず、人と人とのふれあいの中で未来に対して「希望」をもって向かっていくこと。このことこそ、私たちが創造性豊かで幸せな未来を切り開いていく上

で大切なスタンスであると思います。最後に魯迅の小説『故郷』の中の一節をご紹介します。

上には本来道はないが、歩く人が多くなると、道ができる。」

私は如何なる時代であれ、一人一人のもつ「希望」の光が世の中を前向きに動かす大きな力になると信じています。

岡山県高等学校PTA指導者研修会報告

平成25年11月6日(水) ピュアリティまきびにおいて開催し、131名が参加しました。

はじめに、県教育庁より、PTAの目的や役割、人権教育の推進について

の説明がありました。

本研修会は人権教育研修会も兼ねて開催されています。県教育委員会では拉致問題を人権課題の一つとして扱っています。拉致問題が人権侵害の最たるものであり、正しい理解を深めていくために元「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」副代表 蓮池 透氏を講師に迎え、「二つの国のはざまで翻弄され続ける家族」と題して、講演をしていただきました。



【蓮岡 透氏による講演】

拉致被害者や、



【情報交換】

そのご家族のご苦労を知ることができ、拉致問題が一刻も早く解決することを望んでやみません。講演後、少人数のグループに分かれて各PTA活動の紹介や、情報交換を行いました。どのグループも活発に意見を交わし、他校の活動を熱心に聞き入る姿に、参加者皆様の向上心の高さに大変関心いたしました。

単位PTA活動紹介

県立岡山大安寺高等学校 岡山大安寺中等教育学校

岡山大安寺は中等教育学校の開校を機に高校生と中学生が同じ敷地で共に学び生活しています。そのため、学校行事やPTA活動も高等学校と中等教育学校が協力して行っています。ここでは毎年恒例の3つの活動についてご紹介します。

まずは、白鷺祭においての露店・売店の出店です。文化の部では生徒の露店と軒を連ねて、「大安寺屋」を出店し、牛井の調理・販売を行います。また、体育の部では熱中症対策もかねて飲み物の販売を行います。生徒や保護者の方々と同じ時間を共有し、つながりを築くことができる大変有意義な取り組みになっています。

次に紹介するのがPTA研修旅行と合格餅つき行事です。有志の保護者と教員でゆかりのある奈良大安寺に参拝し、家内安全と学業成就のご祈禱をしていただきます。また、合格餅つき行事で使用する餅米もご祈禱していただきます。研修旅行や餅つき行事を通して、子どもの健康と学業成就を互いに願うだけでなく、保護者同士の絆も深まります。

他には、あいさつ運動や保護

者懇談会なども行い、保護者同士が情報交換できる場を設定しています。これからも保護者と教員がひとつになり、生徒の成長を見守っていくことのできる学校にしていきたいと思っています。



【大安寺屋】



【合格餅つき】

本校では「知性・自立・健康」をモットーに長年の歴史と伝統を大切にしながら、新しい西大

県立西大寺高等学校

寺を掲げ「GLOPS-108」というグローバル教育の推進を実施しております。校内掲示は全てが英語表記となっており、保護者側から見ても昨年までとは学校内の雰囲気が大きく変化しているのがわかります。

学校がどんどん進化していく様に負けじとPTA活動においても年間最大の行事であります「西大寺秋桜祭」への模擬店出店をここ5・6年前から実施させていたいております。

子供たちの出店メニューと被らない様に会議を重ねながら、毎年3品目程度のメニューを提案させていただいており、本年もお昼過ぎには完売する程の大盛況で学生たちに喜んでいただきましたと感じております。また一昨年より西大寺高校同窓会の方たちが有志で出店して下さっており、こちらの方も大変盛り上がりました。



【西大寺秋桜祭】

年に一度のお祭り事ではあります。保護者と同じく本校のたくさん卒業生の方たちが現役生徒たちのために腕を振るっていただき、交流を図っていただける場所が出来たということに大変感謝しております。

その他の活動にはPTA評議員と有志の方々から構成されているメンバーで「PTAかわら版」という新聞の発行を年2回実施しており、毎年毎年工夫を凝らしてその年その年の特色を記事にしている保護者の方々から大変好評を得ております。

創立108年を迎えてさらに新しく進化していく西大寺高校と共に、我々のPTA活動も子供達のためになる新たな取り組みにチャレンジしていく気概を持つことが大事だと考えております。そして先生・保護者・生徒そして地域の皆さんと一緒に西大寺高校のために取り組んでいきたいと感じております。

市立玉野商業高等学校

本校は近くに渋川海岸をはじめとする美しい瀬戸内の海、桜や紅葉が美しい深山公園があり、自然に恵まれた環境にあります。古くから造船のまちとして栄え、また四国の玄関口として栄え、国内外から多くの観光客が訪れ賑わいを見せています。現在、約480名の生徒が毎日の

学校生活を楽しんでいきます。PTA役員は41名を数えます。本校はボランティア活動が盛んで、生徒・先生・保護者も数多く参加しています。

毎年5月に「たまの港フェスティバル」に模擬店として参加しています。ヨーヨー釣りやジュース販売を通じて地元の方々と触れ合います。生徒のいきいきとした表情や態度を見ることができるので私たちも元気をもらっています。



【たまの港フェスティバル】

【玉野まつり】



8月の「玉野まつり」では、踊り連「チーム市商」として参加し、お揃いのハッピーリズムに乗り、夏の一夜を踊り盛り上げます。今年は生徒保護者合作

せて過去最高の160名が参加しました。

10月には学校祭に模擬店として参加し、「五目ご飯」と「フルーツポンチ」を販売しました。また、11月には「キッズビジネスタウンたまの」にも参加し、小生に対するキャリア教育のお手伝いをする事ができました。

これからもPTA活動を通して、地域に愛される玉野商業高校を目指して頑張りたいと思います。

県立倉敷青陵高等学校

本校のPTA活動は活発ではありません。バザーも、PTA新聞も無いです。研修旅行も行きません。簡単に言えば、PTAが総出で参加して何かをするような活動をしていないというべきでしょうか。ただ、役員は全く何もしていないわけではなく、地味な活動はしています。

その一例として、年2回行われる登校時の交通査察は侮れません。本校周辺には、大きな病院や駅がある為、朝は特に交通量が多く混雑しています。その上、道幅は狭く、信号も多いので車と自転車がいっしょに接してもおかしくない状況にあります。ですが、これは本校だけで対処できる問題ではないので、毎回注意喚起を促すことくらいしかできないのがもどかしいところです。



【PTA総会】

また数少ない参加型の活動として県高Pや全高P等主催の大会などには積極的に参加させてもらっています。そして消極的な活動の中で最も主たる活動となるのがオープンスクールと青陵フォーラムへの参加です。ここでは青陵高校に興味を持ってくださる中学生の保護者の方々へ向けて、在校生の親から見た青陵高校の様子を語っています。この時の話が好評で毎年担当役員は、忙しい中わざわざ青陵に来てくださる保護者の方の期待を裏切らないような内容の話をすることが役員として最大のミッションとなっています。

県立矢掛高等学校

岡山県立矢掛高等学校は小田郡矢掛町に明治34年に設置さ

れ、今年で創立112年となる県下で4番目に設立された伝統ある公立高校です。平成16年には岡山県立矢掛商業高等学校と統合し、現在では普通科探究コース、普通科総合コース、地域ビジネス科を設置し、やかげ学という地域貢献活動を教育に取り入れ、地域にとっては頼もしい高等学校です。

さて、PTA活動ですが、矢掛町では平成2年から続く小田郡PTA祭という幼・保・小・中・高校PTAが一堂に会し、対抗でバレーボールと綱引きを行うという一大大会が8月に行われます。矢掛町内の全中学校・保育園の先生方、保護者の選手が体育館に集まるのですから、圧巻です。そして、学校間での交流があり、高校の保護者や先生との交流・連帯感もできま

す。平成25年の第24回大会では「綱引き」優勝という快挙を成

【綱引き】



し遂げ、その後打ち上げを行い、楽しいひとときとなりました。

また、矢高祭（文化祭）ではPTAの模擬店を出店しました。20名を超える保護者が焼き鳥やカレーライスなどを調理販売し、大好評で、みごと完売となりました。保護者もひととき高校生になった気分です、楽しんで生徒と交流していました。

このような、当たり前に思えるPTA活動を通じて、生徒・学校・保護者の輪ができ、お互いに成長していったらと思っています。

県立総社南高等学校

本校は昭和61年に新しいタイプの普通科総合選択型の高校として開校し、この春29年目を迎えます。全県学区で生徒は総社市内はもとより岡山市や倉敷市からも通学しており、通称「ジャミ」と言われています。「育てる総社南」とも称され、入学してから成長する子ども達が多いのも特徴の一つです。

県内の公立高校では唯一の美術工芸系の類系を有し、総社市民に親しまれている「Beauty展」は今年で7回目を迎え、総社市の春の恒例行事になっています。

今年26回目となった美術工芸系作品展は、毎年岡山市内で行われており、300点を超える優れた作品の数々で、全国出席

の作品もあります。部活動では特にダンス部が華々しい活躍をしており、世界大会で3度優勝しています。



【喫茶一休さん】

さて、本校のPTAは、家庭教育の責任者である保護者と学校教育の専門家である教師が相互に研鑽する関係性を普段から構築しており、とても良い雰囲気です。

保護者と教師が授業参観や懇談会、年3回の評議員会の中で学校教育の理解を深め合っているのも特徴的です。

南翔祭という文化・体育の祭典では「一休さん」という喫茶店を新・旧のPTA役員を中心に開いており、来校者、生徒、先生にカレーや飲み物、クッキーでおもてなしをしています。

今後子どもたちを巡る環境が変化していく中で、PTAとしても役割や機能を変化させ更にレベルアップしていきたいと思っています。

真庭高校は落合高校と久世高校との統合により、普通科・生物生産科・食品科学科・看護科の4科および専攻科からなり、地域から信頼され地域との繋がりを大切にしている新しい学校として、平成23年に歩み始めました。

県立真庭高等学校

初年度は東日本大震災で被災した宮城へ、「お見米プロジェクト」として8名の生徒が出向き、防災意識を高めることができました。そして昨年度から「こちら高校市民課防災係」（略称「こち防」）事業がスタートし、生徒・保護者・地域・学校が一体となった防災訓練を実施しています。

さて、本校PTAは平成25年の真庭高校完成年度に向けて、両校地のPTA会則の統合や各行事などの運営について検討してきました。しかし、会則は統合したものの、PTA活動は両校地の教育活動のカラーが大きく異なるなど、両校地の連携は今後の課題です。両校地とも5月の総会を始め、6月または7月には地区別懇談会を、夏祭りや秋祭りでは校外補導を実施しています。PTA会員の在住地域が広範囲に渡り、地区役員の選出、懇談会の出席者の確保など毎年苦労しています。

落合校地の白梅祭体育の部ではジュースを販売し、卒業式当日にはぜんざいを振る舞って

ます。久世校地のきら、祭文化の部では三百食限定の焼きそばが販売され、大変人気となっています。今年度特筆できることは、県に要望した、部活動の合同練習のための校地間輸送バスが利用できるようになったことです。週2日、各2往復のバス輸送で、離れた校地でも合同練習ができるようになり、部活動の活性化に期待がもてます。「主役は生徒です」を、よく耳にしますが、まに高に入学して良かった、そして大きく成長できた、と思えるようにPTAとして直接的にも間接的にも支援できるような活動をしていきたいと思っています。

【ぜんざい】



【ジュース販売】



岡山県幼・小・中・高PTA連合会連絡協議会 第三十二回 研修大会

【テーマ】
「心豊かで生きる力を持つ子どもを育てよう」

【期日】
平成26年1月17日(金)

【場所】
岡山シンフォニーホール

【趣旨】

県内の幼・小・中・高PTA関係者が一堂に会し、新しい時代を拓く心豊かで生きる力をもつ子どもを育成するため、子どもの成長・発達に即した家庭教育の在り方について研修を深め、これからのPTA活動の一層の発展を図る。

【内容】

岡山県下の保護者及び教育関係者約1600人が一堂に会し、研修大会を開催した。伊原木隆太郎知事をはじめ渡辺英気県議会議長、伊藤史恵教育次長ら多数の来賓にご臨席いただき開会した。

◆小中学校・高等学校の活動発表◆

はじめに、「倉敷『町衆』精神を育む」～「社会の役に立ちたい」を「学びの志に」～と題し、岡山県立倉敷南高等学校の生徒による発表があった。

町衆とは、かつて天領だった倉敷の市政を担い、現在の倉敷を形作った有力町人のことです。その精神を倉敷南高校の生徒が受け継ぎ「町衆ジュニア」として、未来の倉敷を提言し、社会に役立ちたいと、様々な取組を行っている。3年生は、体育祭の応援合戦の衣装で倉敷らしい素材や柄を採用して倉敷への誇りを表現し、2年生は倉敷への愛着を表現する創作劇を行った。1年生は、地域に出て行き、倉敷の抱える問題点を発見し、倉敷の町を、より良くする提言を考え展示発表を行った。その中で優秀な取組みは、倉敷で栽培されている無農薬無肥料の奇跡の米を取り上げ、女子高生というメディアに載せて、倉敷美観地区への若い世代の呼び込みについて考えたものだった。高校生ならではのアイデアと明るさ溢れる素晴らしい研究発表だった。



《県立倉敷南高校による発表》

この地域密着型のプロジェクトを普通科進学校での新しい

キャリア教育として全国に発信されることを期待している。

次に、「読書大好き山田つ子」読書ビンゴに挑戦中～と題し、和気町立山田小6年生児童による発表があった。

◆アトラクション◆

「小さな心にも大きな心にも響く人形劇」
子供たちの感性を磨きたい人形劇団 クラルテ
「人形劇って、ものを動かし、心が動きます。」

◆講演◆

「スマイル・レポリューション」
人生の主役になる！

《講師》

加藤 登紀子 氏



数多くのヒット曲を持ち、世代、ジャンル、国境を越えた歌手活動をされ、女優・声優としての魅力も発揮されている加藤登紀子氏にご講演いただきました。

加藤氏は、地球環境問題にも積極的に取り組み、国連環境計画親善大使として、自然環境の

現状を伝え、アジア・オセアニア各国の政府及びNGOで活動する人達との交流を図っています。東日本大震災直後より、幾度も被災地を訪問し、被災者に寄り添い励まし続けていらっしやいます。

講演は、「百万本の赤いバラ」の歌ではじまり、ご自身の人生を振り返りながら、生きる事について、命の大切さについて話されました。

生き方を見つめようと、東日本大震災の後「マイ・レポリューション」という本を出版されました。

「生きる事がどこかで破壊や破滅に繋がるのではなく生きる事が限りない喜びにつながる生き方をみつけた。生きることには素直に向かい合い、生きる喜びに真剣に取り組み、ほほえみを持って輝いて生きる事で世界を変えたい。」そして何より大切なことは、「生きる人が自分の人生の主人公になること。」と語られました。

東日本大震災直後に作られた歌や、震災で父親を亡くした少年の日記を元に作られた歌に会場は心を打たれ涙しました。

「大きな愛で包んで育ててくださいね。」と言う言葉を最後に講演は終了しました。

素晴らしい歌と心に響くお話を参加者は大変感銘を受けました。

講演後、閉会式を行い研修大会は幕を閉じた。

平成26年度の予定

◆岡山県高等学校PTA連合会総会・研修会

日時：平成26年6月18日(水)
場所：ピュアリティまきび

◆岡山県高等学校PTA指導者研修会

日時：平成26年11月5日(水)
場所：ピュアリティまきび

◆第33回岡山県幼・小・中・高PTA連合会連絡協議会研修大会

日時：平成27年1月20日(火)
場所：岡山シンフォニーホール

第56回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会高知大会

日時：7月11日(金)
場所：高知県立県民文化ホール 高知市
行程：岡山駅からバスを予定



第57回は岡山で開催多くの会員の皆様の参加を!!



第64回全国高等学校PTA連合会大会福井大会

日時：8月21日(木)～8月23日(土)
場所：サンドーム福井 他 越前市・福井市・鯖江市
行程：岡山駅からバスを予定

